



市議会十二月定例会が十二月四日に招集され、小畑市長が行政報告をしました。その中の主なものの要旨をお伝えします。

樹海ドーム

今年中に幕張り完了

大館樹海ドーム 関連事業について

○ドーム建設工事の状況について

十一月四日に上棟式が行われましたが、現在の進捗率は約七五%となっており、十二月末には屋根の幕張りも完了する予定です。

また、パークセンターの建物工事、電気・設備工事、外構工事の進捗率が一〇から一三%となっています。

○ドームの管理運営について

管理運営主体となります財団法人の設立については、本年中の設立を目指し、県と細部について鋭意協議を進めています。

○ドームの使用について

一般使用は、平成九年八月からを予定し、その申し込みの受け付けは一月下旬から開始したいと考えています。受け付け方法は、後日新聞などを通じて広くお知らせしたいと思います。

完成記念行事については、市主催事業としてプロ野球イースタンリーグ、大相撲巡業、全国ラジオ体操特別巡回など、また、誘致、後援的な行事としては、全国高校トランポリン選手権大会、全県高等学校選抜野球大会などを検討しています。

今後、ドームの活発な利活用に向けて、PRに一層の努力をしたいと考えています。

○ドーム近辺の湧水状況と その対応について

ドームの南西地域で地下水の湧水世帯が数軒発生しています。これについては、ドーム工事との因果関係や自然現象をも含め、実態調査や観測井戸などの調査を行いました。原因を特定することはできませんでしたが、しかしながら、生活水に不便をきたしている地域の状況を考え、問題解決のための対応策について、関係者と協議を急いでいるところです。

大館能代空港について

○東京国際空港便 路線枠について

現在、運輸省において、平成九年から拡張される東京国際空港（羽田）の発着枠の配分が協議されています。この枠に対する新規路線の開設や増便の要望が、各航空会社などから出されています。現時点では、当圏域からの首都圏日帰りを可能とする最

低二往復枠の確保は非常に厳しい状況です。このため、大館能代空港建設促進期成同盟会では、発着枠の配分が決定される来年二月まで、圏域一丸となって強力に要望活動を行うことにしました。

○空港アクセス道路と 遺跡について

十一月二十日、大館能代空港建設促進期



滑走路の舗装工事が進む大館能代空港